

古代石川平野(手取川扇状地)の開発と末松廃寺

人間文化研究機構長 金田章裕

1 大規模緩傾斜扇状地の微地形条件

2 東大寺と越中国砺波郡庄川扇状地の開発

- (1) 古代荘園図
- (2) 古代における扇状地の開拓
- (3) 扇状地上の河川の形状
- (4) 用水路と溝所

3 古代氏族五百木部氏と美濃池田郡粕川扇状地の開発

4 古代手取川扇状地の開発と末松廃寺

- (1) 手取川扇状地の条里遺構
- (2) 加賀国石川郡の条里プラン
- (3) 中世の条里呼称

〈参考〉

足利健亮、金田章裕、田島公：「美濃国池田郡の条里」『史林』70-3、1987

金田章裕：「空間占拠と開拓」佐々木高明編『農耕の技術と文化』集英社 1992

金田章裕：『微地形と中世村落』吉川弘文館 1992

金田章裕：「加賀国石川郡の条里プランと横江荘」

松任市教育委員会編『東大寺領横江遺跡Ⅱ』1996

金田章裕：「越中国砺波郡東大寺領荘園図」

金田ほか編『日本古代荘園図』東京大学出版会 1996

金田章裕：『古代荘園図と景観』東京大学出版会 1998

金田章裕：『古地図からみた古代日本』中公新書 1999

金田章裕：『古代景観史の探求』吉川弘文館 2002

金田章裕：「久泉遺跡における大溝・建物遺構の性格」

砺波市教育委員会編『久泉遺跡発掘調査報告書Ⅲ』 2007

基調講演

古代石川平野(手取川扇状地) の開発と末松廃寺

人間文化研究機構長

金 田 章 裕

第1表 水田分布の規制要因としての平野の微地形

平野	地形(微地形群)	基本微地形	微細微地形	
洪積台地	上位段丘 中位段丘 下位段丘	開析谷 段丘	開析谷・段丘崖の斜面の形状 段丘面上の微起伏	
沖積平野	扇状地	急傾斜扇状地	土石流堆 土石流間低地 泥流舌状地 泥流凹地	
		緩傾斜扇状地	旧中州内 の微起伏 シュートバー 河間低地 小規模な旧河道	
	自然堤防帯	自然堤防 後背湿地 旧河道 ポイントバー	破堤堆積堤 自然堤防内の微起伏 クレバス 後背湿地内の微起伏 小規模な旧河道	
	三角州	上位三角州	自然堤防 後背湿地 旧河道	小規模な旧河道 後背湿地内の微起伏
		下位三角州	砂州 砂堤 砂堤間低地	砂州・砂堤上の微起伏 潟性低地
		自然堤防 潮汐平地		

(本表は平野のすべての地形を網羅していない)



図1 砺波平野の地形と主要遺跡

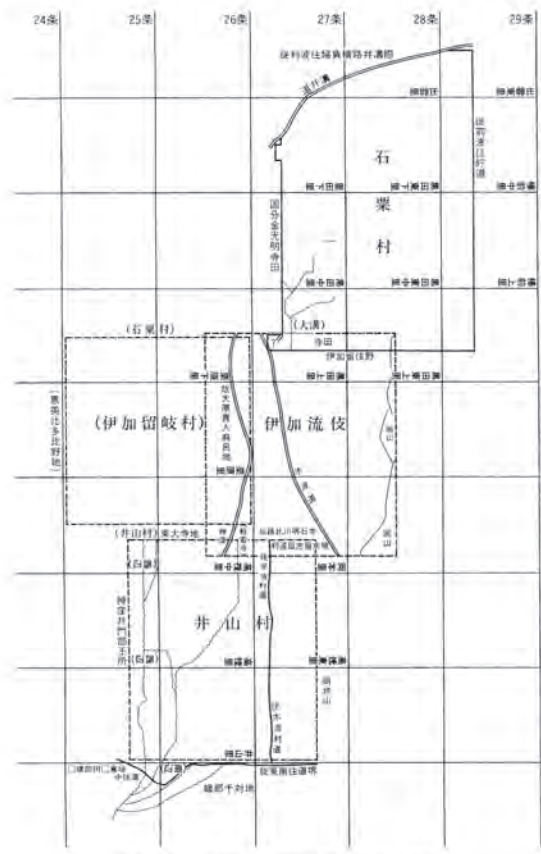


図2 石村・伊加流伎・伊加留岐村・井山村各地の位置関係



図2 石薬村・伊加留郷村・井山村埋地比定と久米遺跡大溝の遺跡
 ・黒田肇博士『古代在國岡と京娘』東京大学出版会、昭和49
 年2月号と比定図

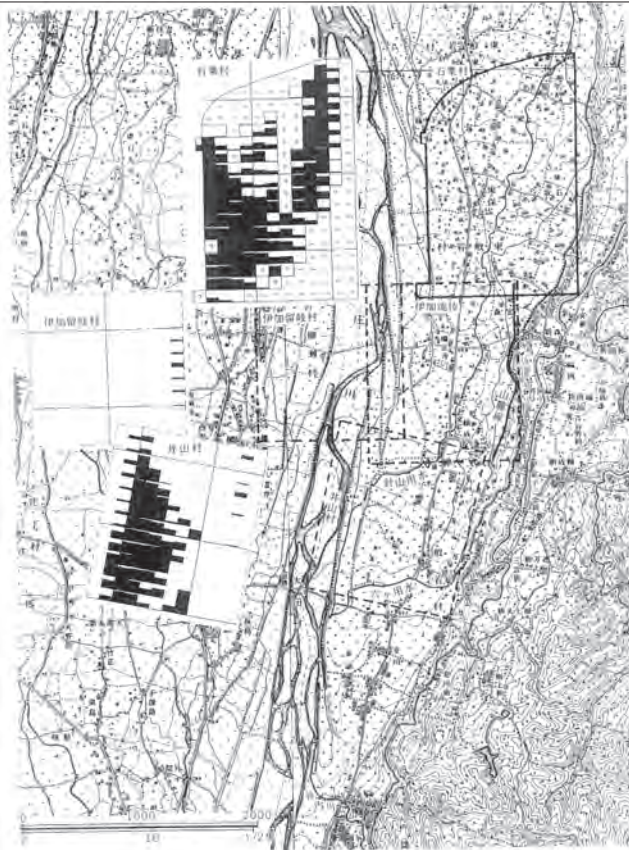
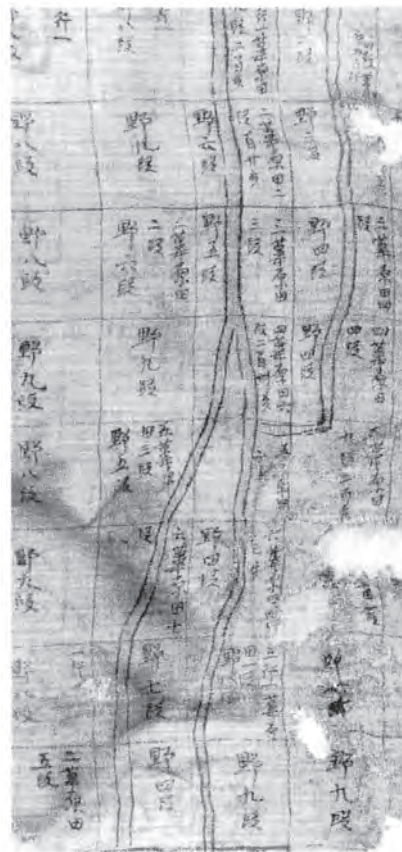


図3 石薬村・伊加留郷村・井山村部の現地比定
 (各比定地先端の岡と各段開闢の田の分布状況)

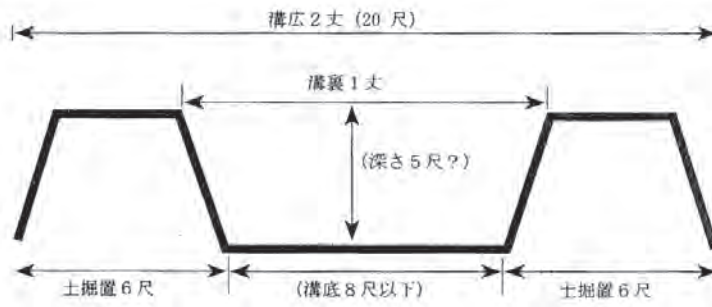




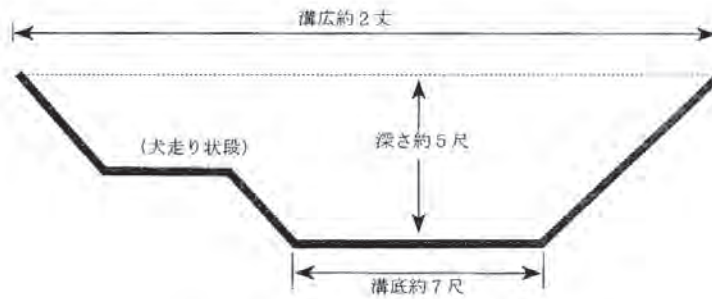
越中国射水郡栞田開田地図 (正倉院宝物) 部分

表2 文書にみえる東大寺領荘園の溝と樋 (『寧楽遺文』による) (金田,1985一部訂正)

	荘園名	溝長(丈)	広(尺)	深(尺)	土掘置	応損等	度樋
越前国坂井郡	①桑原荘	イ) 1,230	1丈2	5		応損熟田 1町8段	1丈5尺
		ロ) 300	6	4			2丈5尺
		ハ) 210	5	3.5			5丈
越前国足羽郡	②溝江荘	イ) 435	6	3	溝内3尺 2辺土置3尺	応損田 1段75歩	
		ロ) 30	6	3	" "	応損田 30歩	
		ハ) 150	6	3	" "	无損田	
越前国足羽郡	③子見荘	イ) 150	6	3	溝内3尺 2辺土置3尺	応損田 150歩	
		ロ) 350	6	3	" "	" 1段340歩	
		ハ) 2,500丈許	6	4~3			
越前国足羽郡	④道守・栗川荘	イ) 433	2(丈)	?	溝裏1丈 2辺土掘置各6尺	応損田 9段224歩	1丈2尺 6尺
		ロ) 1,288	1(丈)	?	"6尺 " 3尺	応損田 1町4段120歩	
		ハ) 2,500丈許	6	4~3		(生江臣東人私功)	
越前国足羽郡	⑤栗川荘	イ) 613	4尺2寸	4		応損田 1段60歩	
		ロ) 210	6	?	溝裏3尺 2辺土掘置各1.5尺	応損桑原 120歩	1丈
		ハ) 30	6	?	溝裏3尺 土掘置1.5尺	宅地	6尺
射水郡	⑦鹿田荘	イ) 90	4	2		応損田 120歩	



＜道守荘における溝（幅2丈の模式断面＞



＜久泉遺跡における大溝の模式断面＞

図3 溝の模式断面

発掘調査による大溝の検出は約100mほどの範囲であるが、レーダー探査によってこの溝を追

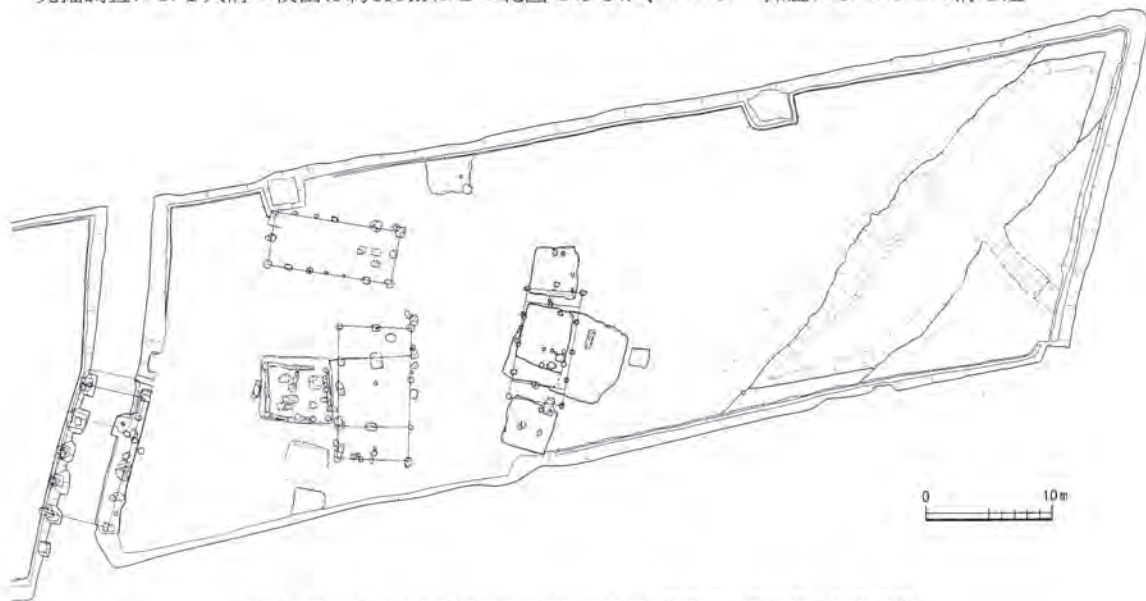
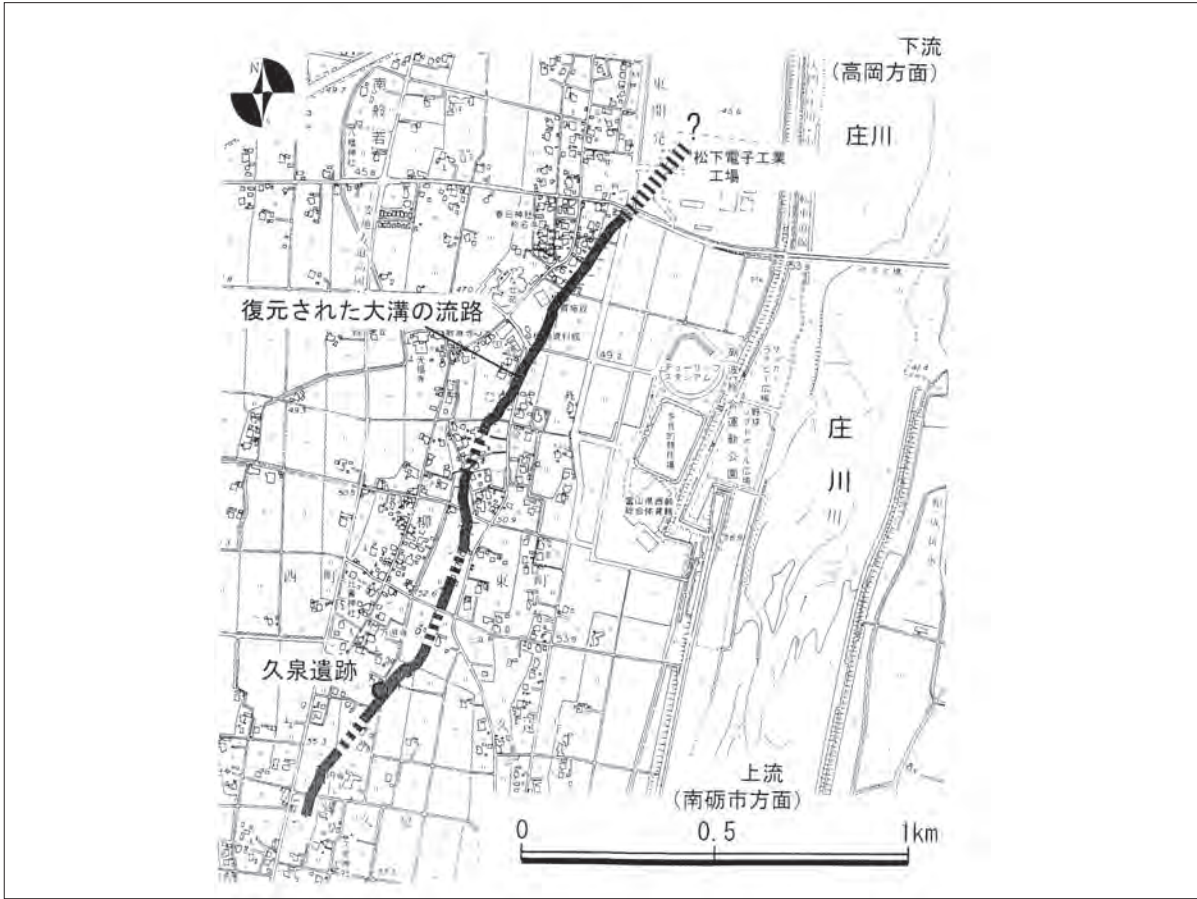


図1 久泉遺跡（平成17年度東側調査区第2遺構面）の大溝・建物遺構



11川 越中国射水郡鹿田村野田地区

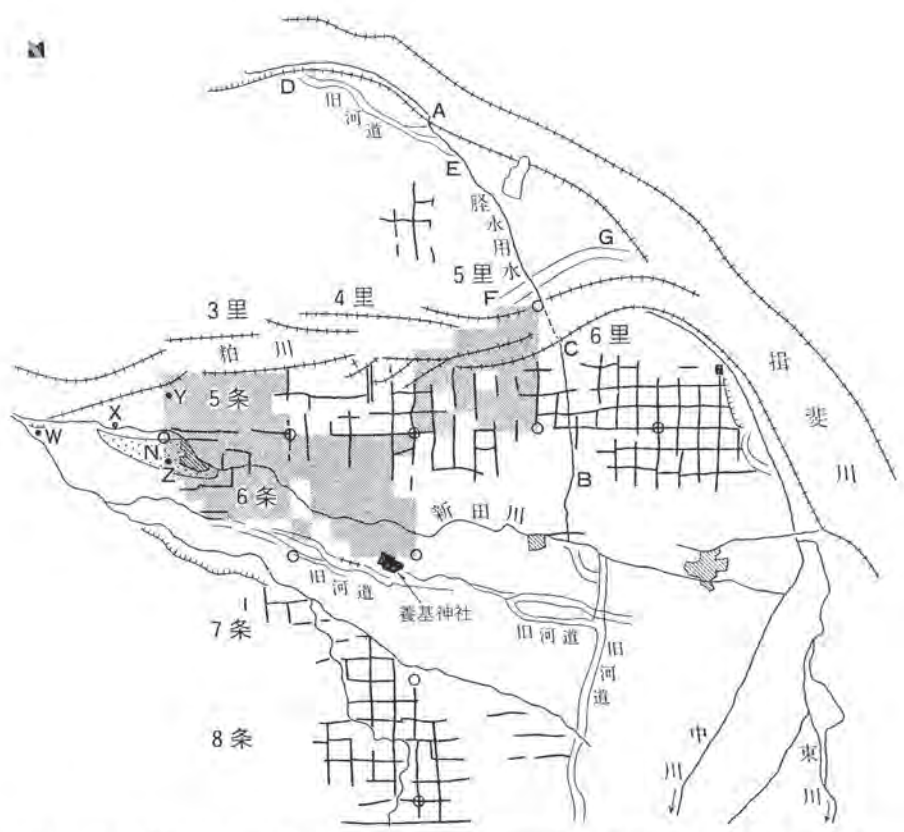
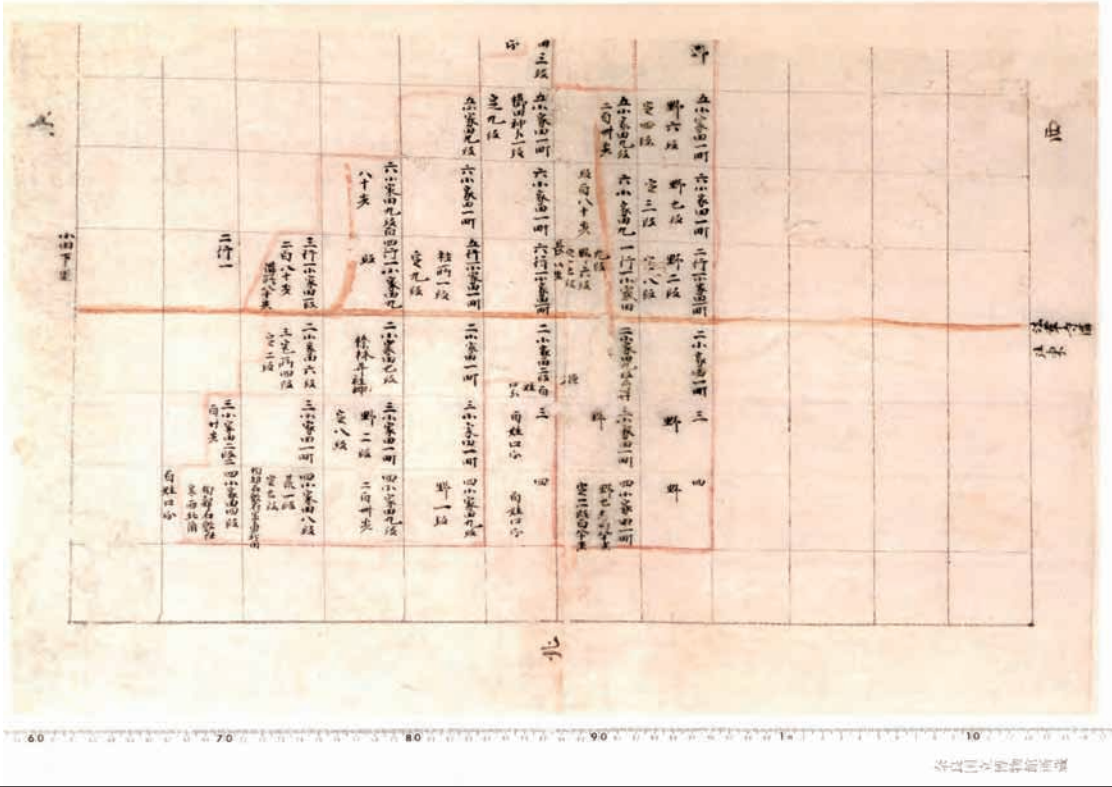
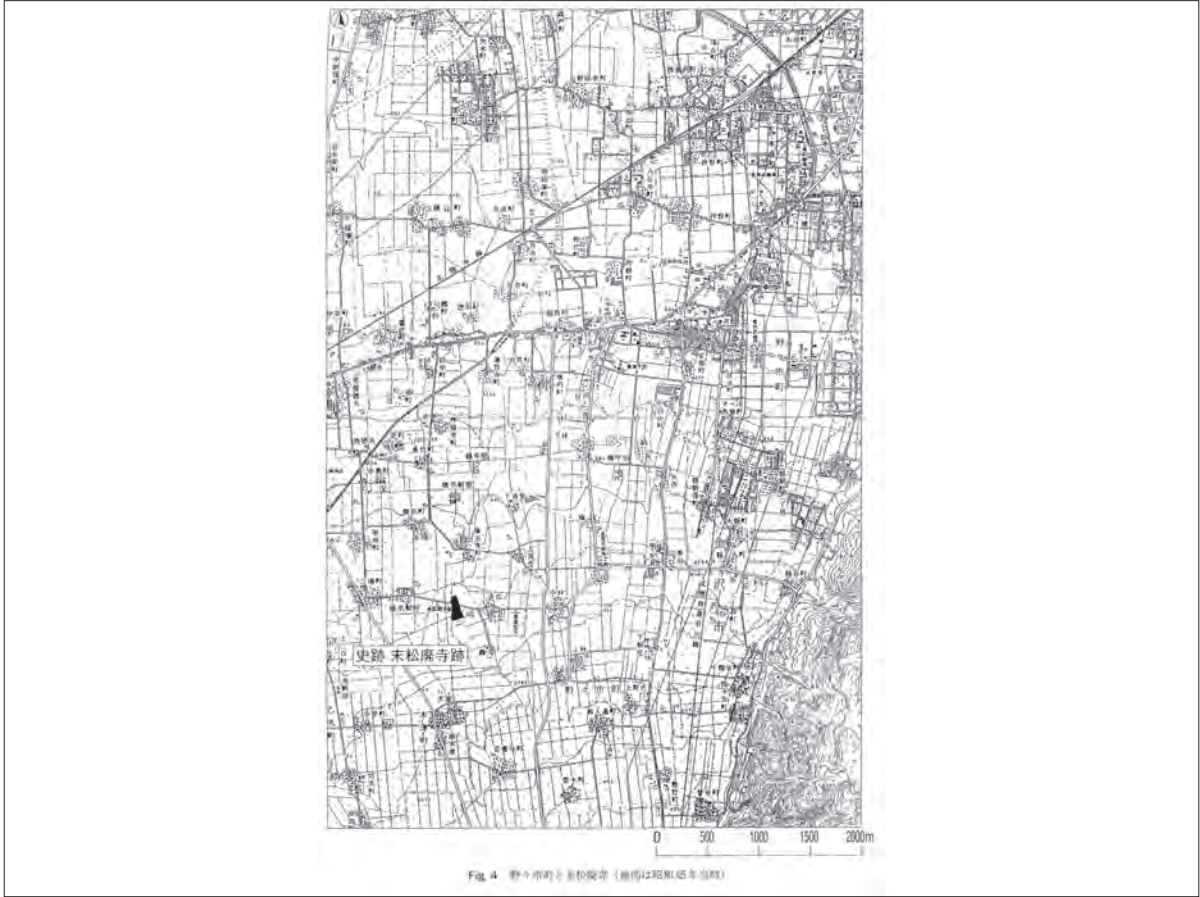
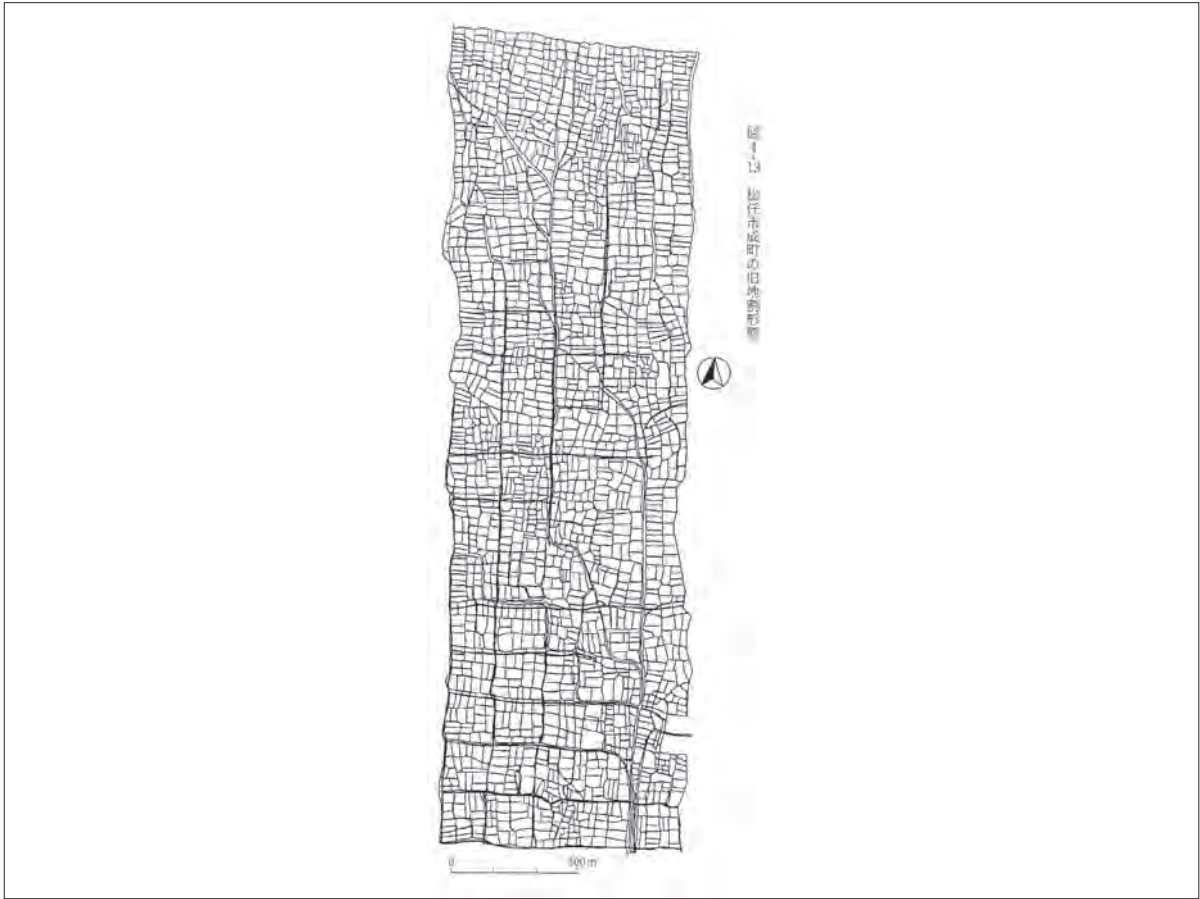
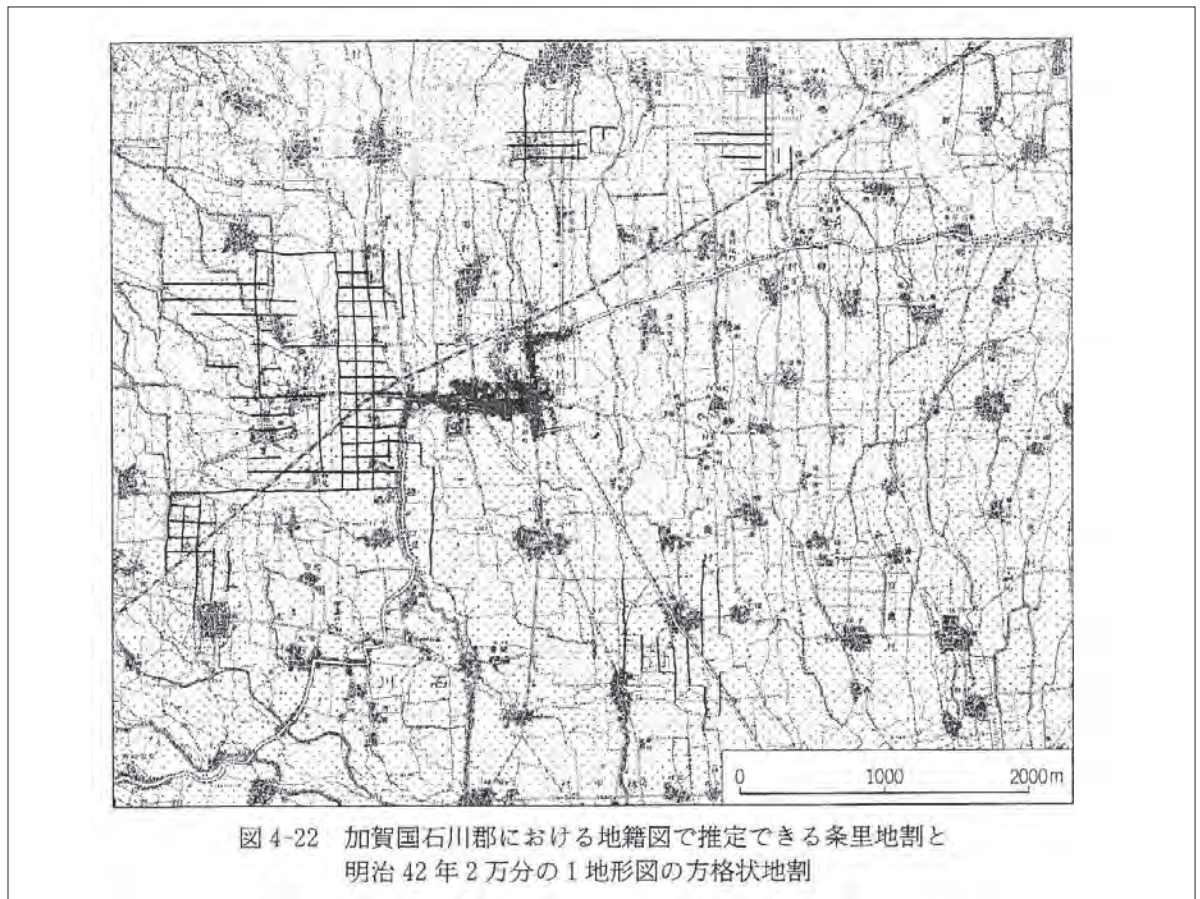


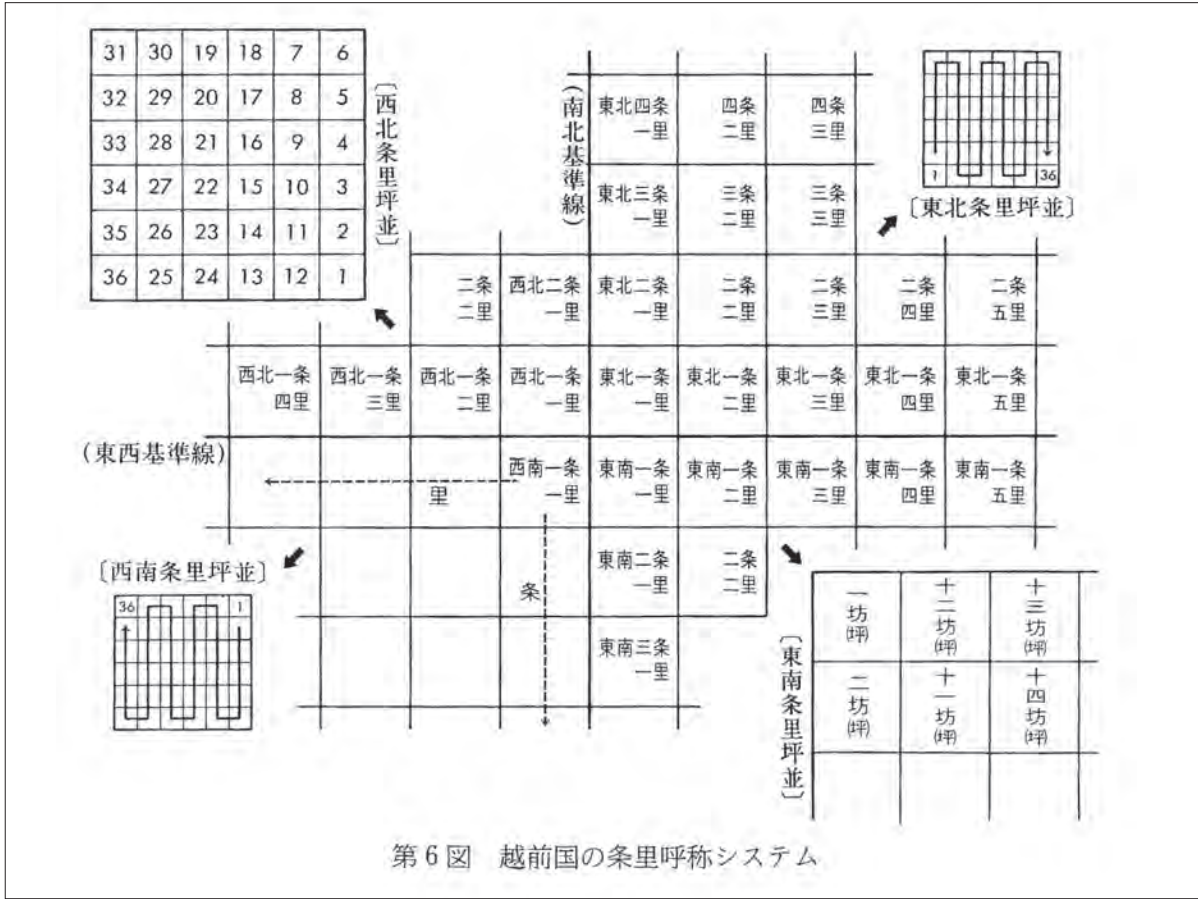
図11 五百木部惟茂名田とその周辺（アミの部分为名田分布坪，Nの一带は、自然堤防である）



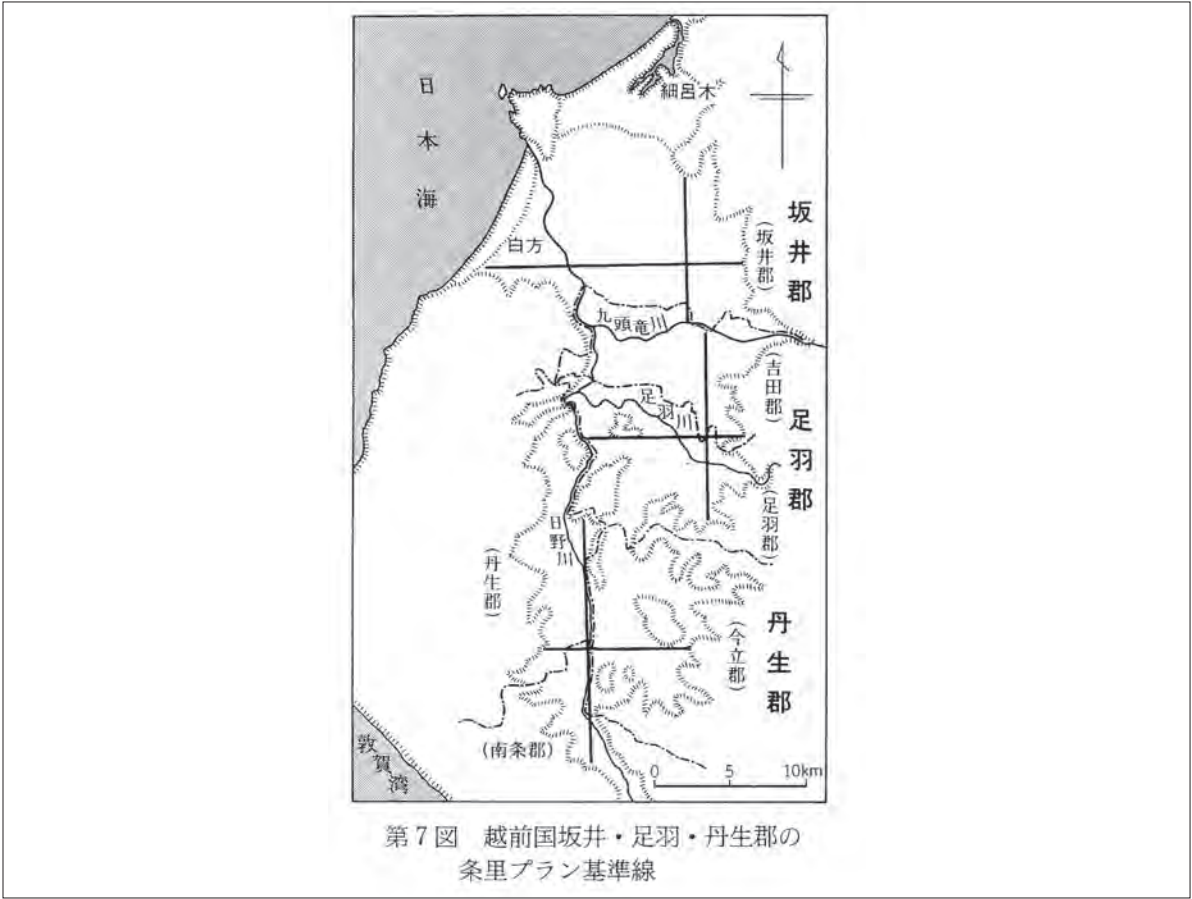








第6図 越前国の条里呼称システム



第7図 越前国坂井・足羽・丹生郡の条里プラン基準線

天平神護二年(七六六)

江沼郡幡生庄使解 申百姓等障溝事

野川溝二通常田開時溝者

荒廢田十三町東北十五条田既荒者

(下略)

江沼郡幡生村四至(北)東北染河 南岡 西床滑山道并神力良家
北十五条与十六条堺畔

地五十町五段六十四步、天平宝字三年十二月三日

大治五年(一一三〇)
東大寺諸莊文書并絵圖等目錄

① 上荒屋遺跡出土木簡二七号⁽⁶²⁾

『四段二百卅二步』庄 五条十九町三段三〇

② 同五二号⁽⁶³⁾

(表) 「十二 二十一 三十九 四八 七
一 二 三 四 五 六」

(裏) 「十二 十一 十九 八 七」

③ 戸水大西遺跡出土木簡第五号⁽⁶⁴⁾

「飛駄満地万呂五斗」

「中庄十四条七里」

廿九

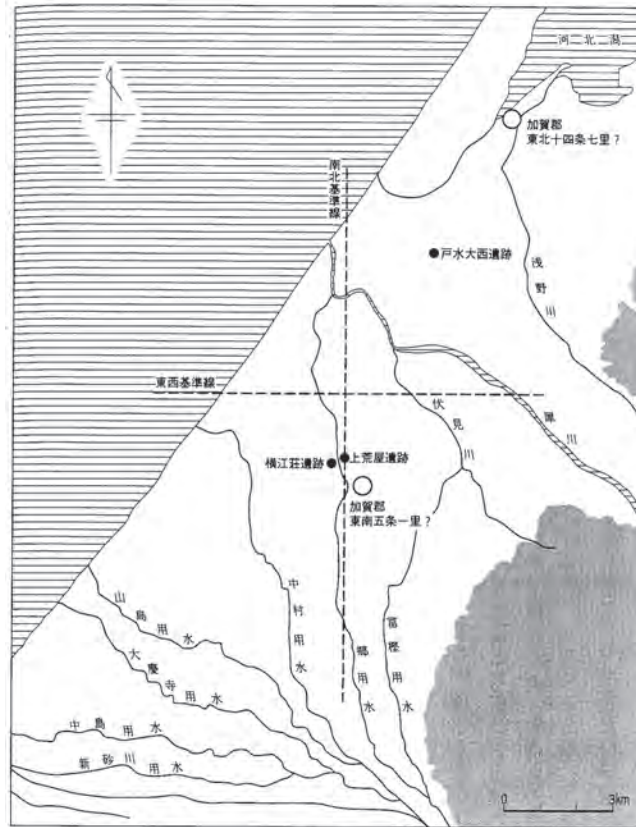


図 4-23 越前国加賀郡条里プラン推定の説明図

渡進 白山長吏御坊御免田上林郷下地坪付帳

合

一里内

八坪 二段廿代 大米重名内

九坪 五段卅代 大米重名内

十坪 四十代 東得用内

十一" 二段廿代 大米重名内

十二" 七段廿代 大米重名内

廿五" 一段十五代 福王名内

廿七" 七段卅代 七郎丸名内

五" 十五代 惣太名内

已上式町捌段定

又式段 惣太名内

都合田地参町定

延文元年七月廿六日 政所源景

(一三五六)